

平成30年1月25日(木)
平成29年度 第2回
大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会

資料
(3-1)

狭山池の利活用 狭山池を核としたまちづくり

大阪狭山市

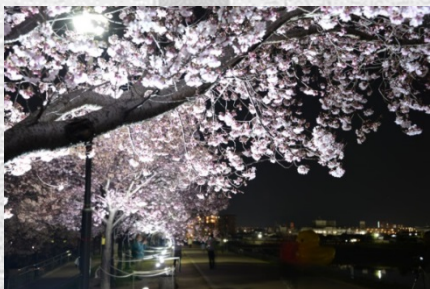
狭山池

1400年間にわたってその機能を維持・継承されてきたわが国最古のダム形式のため池

- 飛鳥時代（西暦616年頃）の築造以来、奈良時代の行基や鎌倉時代の重源、江戸時代初めの片桐且元など、歴史上著名な人物が改修にかかわり、狭山池は多くの人々の献身的な努力によって現代まで守られてきた。
- 平成の改修では、治水ダム機能の大幅な改善がなされ、府民に安心・安全と憩いを提供している。
- 国の歴史・文化と深い関係性を有する狭山池は、きわめて重要な「生きつづける遺産」であり、平成27年には国の史跡に指定された。
- 私たちは、古代から受け継がれてきた狭山池を史跡として保存すると同時に総合的な活用を図り、大阪狭山市の魅力を向上させる必要がある。

狭山池築造1400年記念事業

社会実験として記念事業を実施



桜ライトアップ



ラバー・ダックの展示



桜まつり



狭山池まつり



テラス1400



手つなぎマルシェ池の駅



産業まつり



狭山池イルミネーション

準則特区取得

河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域の指定



■ 指定範囲

西除川の河川区域内で、左図に示す範囲

■ 狭山池の位置づけ

狭山池は飛鳥時代に西除川をせき止めて築造されたわが国最古のダム形式のため池で、飛鳥時代（西暦616年頃）の築造以来、様々な歴史上著名な人物が改修にかかわり、多くの人々の献身的な努力によって現代まで守られてきた。

わが国の歴史・文化と深い関係性を有する狭山池は、きわめて重要な「生きつづける遺産」であると同時に、大阪狭山市のシンボル、府民・市民のコミュニケーション拠点としても広く親しまれており、市民ボランティアによる清掃活動やガイドウォークなどが毎月開催されている。

また、2016年は、狭山池が築造から1400年の節目を迎えることを記念し、官民協働で設立した狭山池築造1400年記念事業実行委員会により様々な事業を実施した。

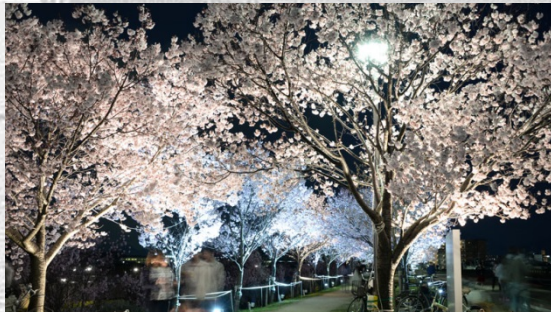
こうした経緯を踏まえ、西除川／狭山池エリアは今後とも、地域住民による熱心な活動とともに、水辺空間を活かしたにぎわいの創出や地域の活性化が期待される地域である。

■ 指定年月日

平成29年3月31日

2017年度

狭山池にて水辺の賑わいづくりを計画・実施



■ 桜まつり・春（桜ライトアップ）

平成29年3月24日～4月2日

桜の開花時期に合わせて、狭山池北堤に咲く桜をライトアップ。春の風を感じながら桜を楽しんでいただきました。



■ 狭山池まつり2017

平成29年4月29日・30日

市民が企画・運営し、市内外から市の人口以上の人を訪れる市最大のイベント。灯火輪・龍神舞台をはじめ、池全周を使って開催される。2017年度は大阪狭山市市制施行30周年記念事業として実施し、52,000人が訪れた。



■ さやま手つなぎマルシェ池の駅

平成29年10月29日 ※台風接近のため中止、写真は前年度

「人と人が出会う、ストーリーに出会う想いに出会う、そして狭山池の新たな風景に出会える」をテーマに、手しごと・手づくりの良さを感じられる、個性あふれる多彩なアート・クラフト作品の発表

2017年度

狭山池にて水辺の賑わいづくりを計画・実施



■ 桜まつり・冬（イルミネーション）

平成29年12月1日～平成30年1月27日

狭山池北堤の桜並木をイルミネーションで彩りました。約5万球のLEDが夜に浮かぶ幻想的な光の花を咲かせました。



■ （仮称）狭山池「池の駅」

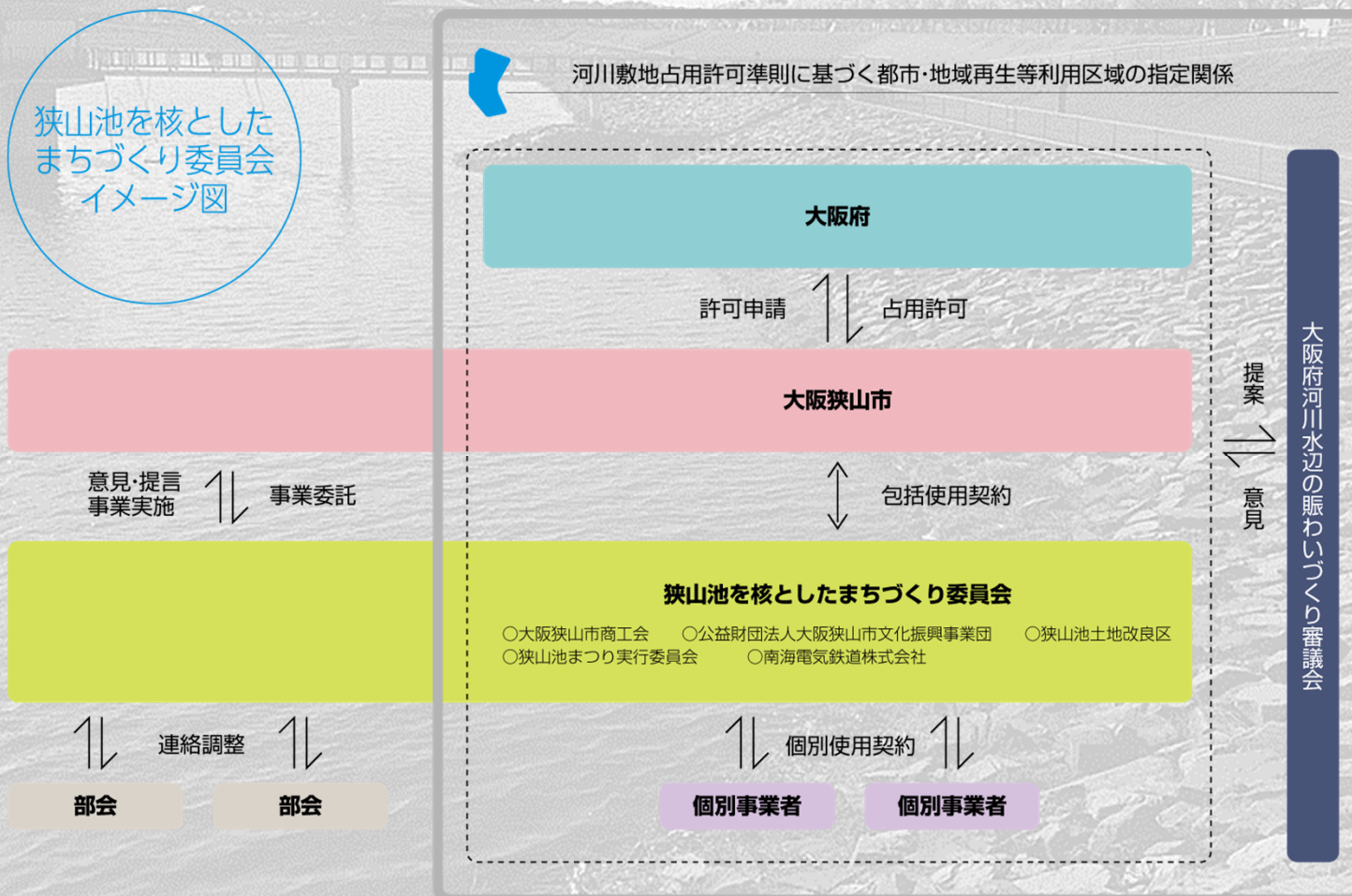
大阪狭山市のシンボルである狭山池の水辺空間を活かし、賑わいの創出や魅力あるまちづくりを行なうため常設の情報発信拠点を設置するもの **※史跡への配慮の観点から建設予定地を再検討する必要が生じた**

現在策定中の歴史文化基本構想を踏まえた日本遺産認定に向けた取組みと並行し、場所や機能を含め史跡としての価値を損なうことなく狭山池の魅力を発信していくことのできる仕組みとして再検討中。

2017年度

狭山池を核としたまちづくり委員会設立

狭山池を核とした
まちづくり委員会
イメージ図



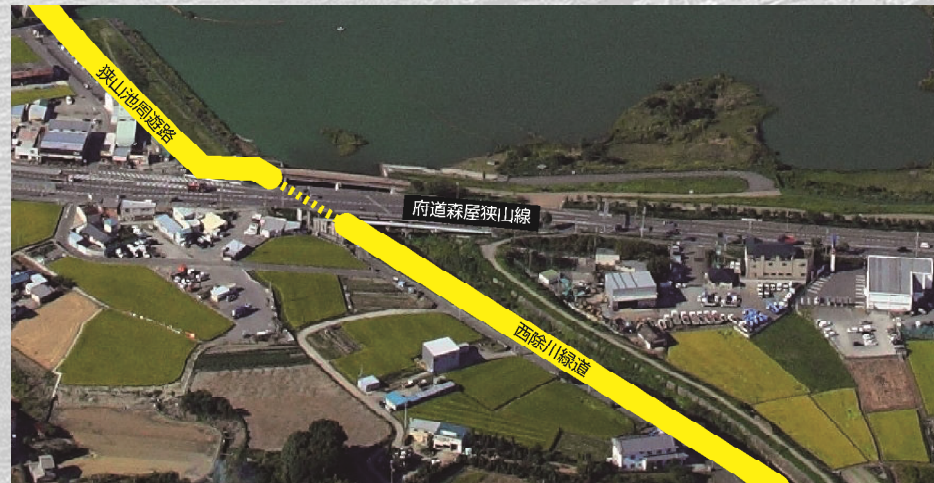
今後の取り組み

狭山池への新たなアクセスの整備



● 狭山池橋下アンダーパス事業 (2019年度完成予定)

狭山池公園の南側入口と西除川緑道の北側入口は、府道森屋狭山線で分断される形状となっています。狭山池橋下にアンダーパス（歩道）を整備することで狭山池公園周遊路と西除川緑道を接続し、歩行者や自転車利用者の利便性を向上させることで、新たな人の流れを生み出します。



今後の取り組み

狭山池の利活用を進める各種計画の策定



● 史跡狭山池保存活用計画 (2017年度策定予定)

貴重な文化遺産「狭山池」を後世に守り伝えるために、学術的な歴史的価値を踏まえ、歴史的景観を含めて、保存管理を行うための具体的な方針を示すとともに、市民・国民の財産となる整備活用につなげることを目的として策定します。



今後の取り組み

大阪狭山市総合計画や平成29年度に策定予定の「史跡狭山池保存活用計画」、平成30年度に策定予定の「みどりの基本計画」をはじめとする各種計画に基づいた狭山池の利活用についても、都市・地域再生等利用区域の指定を受けたことで、「狭山池まつり」やその他イベント・地域活動を、より拡がりを持った水辺の賑わい創出、ひいては大阪狭山市の魅力あるまちづくりに資する活動として継続的に取り組むことが可能となりました。

大阪狭山市として、各種計画のまとまる平成30年度以降、平成32年度を目標に「狭山池を核としたまちづくり委員会」をはじめとする各団体と協働して狭山池の魅力発信機能をより強化していきます。

今後の取り組み

